

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(管理 運営用)

I 基本事項

整理番号 1196

事業名	沼島教職員住宅管理費		予算 科目	会計	一般会計・1
担当部課名	教育部	教育総務課		款	教育費・10款
電話	0799 -37 -3017		項	中学校費・3項	
			目	学校管理費・1目	
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり			
	まちづくりの目標	一人ひとりが明日を拓くリーダー〔教育〕			
	施策目標	子ども達や市民が、南あわじ市の未来を切り拓くための、多様な能力を身につける機会を提供する			

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

施設 の 概 要	設置目的	対 象 (誰を・どのような状況の人を)				
		離島である沼島の小中学校に勤務している教職員				
	設置目的	意 図 (どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)				
		沼島の小中学校の教職員は、概ね旧三原郡内より長時間車を運転し、土生港より汽船にて通勤しており、身体的疲労も相当ありました。そこで、学校に隣接するところに教員住宅を建設し、そこから通勤してもらうことで負担の軽減をはかり、より一層学校教育に精励してもらうために建設された。				
	施設内容	施設名称	沼島教員住宅			
		所在地	南あわじ市沼島970番地1			
		設置年度	昭和 54 年度			
	施設内容	教員住宅	鉄骨2階建他	延べ床305㎡	16室	定員16名
		(施設の利用状況、稼働状況)				
		小中の教職員数25～6人に対して、16室しかないため相部屋として利用している。				
		南あわじ市沼島教員住宅規則 平成17年1月11日 教育委員会規則第14号				
開館時間		時	分	午後	時 分	
休館日		<input type="checkbox"/> 平日	<input type="checkbox"/> 曜日	<input type="checkbox"/> 土曜日	<input type="checkbox"/> 日曜日 <input type="checkbox"/> 祝祭日	
		(その他)				
運営方法		<input type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託		
		委託団体				
		委託内容				

Ⅲ Do (管理状況、使用料、投入資源等)

管理手法	(委託業種、作業内容、設備・備品内容、修繕内容など)						
	小中学校の教職員にて週1回程度施設内の清掃を実施している。						
施設管理従事職員		市職員	人	委託団体職員	人	合計	0人
使用料等	受益者負担について(料金体系、根拠法令など)						
	入居料	H17年度	288,000円(16室×1,500円×12月)				
		H18年度	288,000円(16室×1,500円×12月)				
南あわじ市沼島教員住宅規則 平成17年1月11日 教育委員会規則第14号							
減免措置(減免内容、根拠法令など)							
資源配分 インプ ト			平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	直接事業費 (千円)		1,378	277	835	825	
	施設修繕料		1,343	242	800	800	
	建物損害保険料		10	10	10	10	
	受水槽保守点検及び清掃委託料		25	25	25	15	
	財源 (千円)						
	国						
	県						
	使用料		407	288	288	288	
	その他						
	一般財源[A]		971	11	547	537	
	人件費(正規職員)[B] (千円)		31	30	30	30	
	平均人件費(1日当り)		30.7	29.9	30.1	30.1	
	事業量1(事業に要した日数)		1	1	1	1	
事業量2(事業に要した人数)		1	1	1	1		
年間経費([A]+[B])		1,002	19	577	567		
経費に関する 補足説明							

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
設置目的達成度	成果指標目標値	室	16	16	16	16
	成果指標実績値	室	16	16	16	
	目標達成度	%	100.0	100.0	100.0	-
	成果指標	入居状況	単位	室		
	指標算出の考え方	部屋数に対する入居割合				
(達成度の分析、問題点・課題などを記入。) 全室入居し空き室がないため、設置目的は達成されている。						自己評価 (5点評価)
						5
効率性		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	年間経費	千円	1,002	19	577	567
	年間利用者数	人	305	236	300	
	利用者1人当りコスト	千円	3.3	0.1	1.9	-
	延床面積	m ²	305	305	305	305
	面積1m ² 当りコスト	千円	3.3	0.1	1.9	1.9
(施設の効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 平成17年度には台風により屋上防水シートが被災しその復旧に経費を要した。また、施設の老朽化等により、相当の維持管理費用が毎年必要になる。 また、空調機等が整備されていないため、夏場には大変寝苦しい状態となっておりますので、順次整備し環境改善を図る必要がある。						自己評価 (5点評価)
						3
必要性	行政関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
	(公共が設置すべきか、市民ニーズはあるかなどを分析、問題点・課題などを記入。) 現在、教職員は主要地方道洲本南淡線の2車線化及び高速船の就航により毎日通勤しているため、恒常的に入居はしていませんが、気象条件等により欠航及び欠航が予想される場合であったり、学校行事等で始発便では遅い場合、最終便に乗船できなかった場合には島内で宿泊しなければならないため是非とも必要である。					
						5
総合評価	自己評価をふまえた現状分析					
	<p>へき地教員住宅については、道路整備等が進みへき地等に指定されていても十分利便性が確保されてきているため入居者のいない施設が全国的に生じております。</p> <p>沼島教職員住宅においては、恒常的に入居している教職員はおりませんが通勤に航路の利用が伴ってくるため気象条件及び運行時間等により突発的に宿泊しなければならない場合が多くあり、沼島の小中学校を運営するうえで是非とも必要な施設である。</p>					
						<p>評価グラフ</p>

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性及び具体的な改善案	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
	<input type="checkbox"/> 見直し (下記の見直し内容にチェック)	<input type="checkbox"/> 見直し (下記の見直し内容にチェック)
	<input type="checkbox"/> 人員配置の見直し <input type="checkbox"/> イベント等の見直し	<input type="checkbox"/> 人員配置の見直し <input type="checkbox"/> イベント等の見直し
	<input type="checkbox"/> 開館時間、休日等の見直し <input type="checkbox"/> 使用料の見直し	<input type="checkbox"/> 開館時間、休日等の見直し <input type="checkbox"/> 使用料の見直し
	<input type="checkbox"/> 指定管理者委託 <input type="checkbox"/> 民間譲渡	<input type="checkbox"/> 指定管理者委託 <input type="checkbox"/> 民間譲渡
	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> その他
	住宅としては使用頻度は低いですが、必須の施設であるので現状維持したい。大規模な改修を必要とするまでは当初の目的を達成できるような部分的修繕をおこなうとともに、教職員にも日常的な施設維持に協力してもらおう。	大規模な改修が必要になった場合は、沼島総合センターを利用することも視野に入れる。 (宿泊可能部屋数：研修室4、宿直室1、老人室1、集会室1) 男女別で最低2室必要だが、欠航時には、沼島総合センター職員が研修室を利用し、避難所指定施設のため市民が男女別で利用した場合、部屋数が足りないことも考えられる。また、緊急の校務など深夜に及ぶ場合には、戸締り等沼島総合センターの負担が大きくなるため、教職員の需用がある限りできるだけ現状維持で使用したい。
見直しにより見直しの期待される効果		
(現状維持の場合も記入) 廃止・委託の影響	仮に施設を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)	
	プラス面 1) 施設修繕にかかる経費の削減。 2) 教職員の、清掃等の負担の軽減。 マイナス面 1) 学校運営に支障がでる恐れがある。 2) 学校内に宿泊等に必要な設備がない。 3) 「適正化法」により財産処分をしなければならないが処分する理由がない。	
他の類似施設を持つ自治体の動向等	仮に外部委託した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)	
	プラス面 1) 施設修繕にかかる経費の削減。 2) 教職員の、清掃等の負担の軽減。 マイナス面 1) 旅館が1軒ありますが定員が30人弱であり、突発的に宿泊を申し込んでも対応してもらえない場合が想定される。 2) 委託費用 平成17年度で欠航が19日83往復便あり宿泊は60日305泊×5千円=1,525千円 平成18年度で欠航が15日35往復便あり宿泊は55日236泊×5千円=1,180千円	